

工事費内訳書

所在地

商号又は名称

代表者名

印

1. 履行名称

2. 積算内訳

工事区分・工種等	単位	数量	金額(円)	摘要
直接工事費計(A)				
共通仮設費(積み上げ分)	式	1		
共通仮設費(率分)	式	1		経費区分: 施工地域区分:
共通仮設費計(B)				
純工事費計(C=A+B)				
現場管理費(D)	式	1		
工事原価(E=C+D)				
一般管理費(F)	式	1		
履行保証金(金銭的保証)(G)	式	1		
工事価格(消費税抜き)(H=E+F+G)				入札金額

- 注) ・この様式により難しい場合は、適宜この様式に準じて作成すること。
・工事価格は適正に積み上げ、「出精値引き Δ〇〇〇円」などのような根拠が不明確となる記載はしないこと。
・工事価格は入札金額と一致すること。
・内訳欄が不足する場合は適宜行を追加すること。(複数枚でも可)
・電子入札の場合は、代表者印は不要です。

は、発注担当課で入力してください。

は、入札参加業者が入力してください。

工事費内訳書

記載例

所在地 太田市〇〇町〇〇番地
 商号又は名称 △△建設㈱
 代表者名 代表取締役 〇〇 〇〇

※電子入札の場合は、代表者印は不要です。

入札公告に記載された
とおりに記入

1. 履行名称 〇〇〇地内道路改良工事

2. 積算内訳

レベル2の合計を記入

工事区分・工種等	単位	数量	金額(円)	摘要
道路改良			52,988,500	
道路土工	式	1	8,685,900	レベル2の各項目について、設計書により見積る
擁壁工	式	1	2,433,600	
排水構造物工	式	1	40,833,800	
構造物撤去工	式	1	1,035,200	
舗装			14,234,600	
舗装工	式	1	10,185,700	電子入札の設計図書には、経費区分は記載されていませので、こちらを確認して下さい。
縁石工	式	1	3,607,700	
区画線工	式	1	441,200	
道路修繕			311,500	
舗装工	式	1	311,500	
直接工事費計(A)			67,534,600	
共通仮設費(積み上げ分)	式	1	1,523,000	経費区分: 独自経費 施工地域区分: 地方部(一般交通等の影響あり)
共通仮設費(率分)	式	1	7,428,800	
共通仮設費計(B)			8,951,800	
純工事費計(C=A+B)			76,486,400	
現場管理費(D)	式	1	19,886,400	履行保証金がある場合のみ記入
工事原価(E=C+D)			96,372,800	
一般管理費(F)	式	1	9,858,700	入札書の金額と一致する
履行保証金(金銭的保証)(G)	式	1	38,500	
工事価格(消費税抜き)(H=E+F+G)			106,270,000	入札金額

- 注) ・この様式により難しい場合は、適宜この様式に準じて作成すること。
 ・工事価格は適正に積み上げ、「出精値引き △〇〇〇円」などのような根拠が不明確となる記載はしないこと。
 ・工事価格は入札金額と一致すること。
 ・内訳欄が不足する場合は適宜行を追加すること。(複数枚でも可)

工事費内訳書作成要領

1 工事費内訳書は、次の場合に作成し提出してください。

- ① 条件付一般競争入札(工事)に参加する場合
- ② 指名競争入札(工事)に参加する場合
- ③ 小規模案件指名競争入札(工事)に参加する場合

上記の競争入札に参加する場合、あらかじめ「工事費内訳書」を作成し、入札書と一緒に提出する必要があります。【入札時に封筒(郵便入札の場合は専用封筒)に「入札書」と「工事費内訳書」を同封してください。】

2 工事内訳書は、次のとおり作成してください。

(1) 記載事項は次のとおりです。

- ア 入札者の所在地、商号又は名称、代表者の氏名及び代表者印
※電子入札の場合は、代表者印は不要です。
- イ 履行名称
- ウ 積算内訳(※所定のレベル(工事区分・工種)まで必要です。)

(2) 直接工事費の積算内訳は以下のとおりです。

直接工事費の内訳は、上位項目から第2段階のレベル(レベル2)まで必要です。その工事に係る設計書により積算し、レベル2の各項目の一式金額を工事費内訳書に転記してください。

具体的にはレベル区分は次のとおりです。

- ア 土木工事関係(土木工事積算基準によるもの(水道工事含む))
 - ① 工事区分(レベル1)
 - ② 工 種 (レベル2)
 - ③ 種 別 (レベル3)
- イ 土地改良工事関係(土地改良事業積算基準によるもの)
 - ① 名称(規格)欄の「・」印 (レベル1)
 - ② 名称(規格)欄の「・・」印 (レベル2)
 - ③ 名称(規格)欄の「・・・」印 (レベル3)
- ウ 建築工事関係(公共建築工事積算基準によるもの)
 - ① 種 目 (レベル1)
 - ② 科 目 (レベル2)
 - ③ 中科目 (レベル3)
- エ その他の工事(その他の積算基準によるもの)

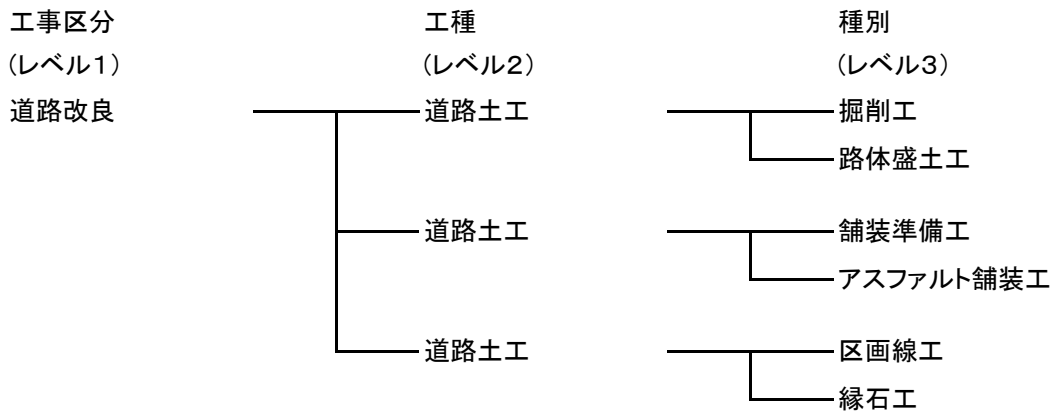
工事の種類に応じ、上記に準じて作成してください。この場合でも第2段階レベルまでの内訳書の作成をお願いします。(不明な点は契約課へ確認してください。)

3 工事費内訳書の作成にあたっては、次の点に注意してください。

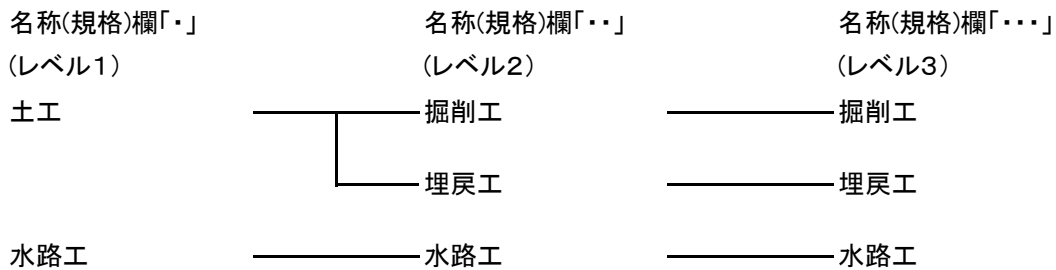
- (1) 作成にあたり不明な点がある場合は、必ず事前に契約課に確認してください。
- (2) 所定のレベルまで記載がない場合、その入札が無効となる場合があります。
- (3) 「出精値引 △〇,〇〇〇円」などのような経費の根拠が不明確となる記載はしないでください。
- (4) 談合情報が寄せられた場合は、提出された工事費内訳書を公正取引委員会及び警察に提出することがあります。
- (5) 提出された工事費内訳書は返却しません。

4 内訳書の作成レベルは、次の参考図のとおりです。

【土木工事関係】(土木工事積算基準によるもの)



【農業土木工事関係】(土地改良積算基準によるもの)



【建築工事関係】(公共建築工事積算基準によるもの)

